



2021年12月28日

各 位

会 社 名 ウェルス・マネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 千野 和俊  
(コード番号：3772 東証第二部)  
問合せ先 専務取締役執行役員経営企画部長 近持 淳  
(電話番号 03-6229-2129)

## 「京都悠洛ホテルMギャラリー」「京都悠洛ホテル二条城別邸Mギャラリー」 リブランドに関するお知らせ (ホテル運営業務委託先の変更)

当社連結子会社である株式会社ホテルWマネジメント（以下、「HWM社」）は、「京都悠洛ホテルMギャラリー（京都市東山区）」「京都悠洛ホテル二条城別邸Mギャラリー（京都市中京区）」において、エイ・エイ・ピー・シー・ジャパン株式会社（フランスを本拠とし、世界規模で展開するホテルチェーンであるアコーホテルズの本邦現地法人）との間でホテル運営に関する業務委託契約を締結し、アコーホテルズのホテルブランド「Mギャラリー」として、開業以来、両ホテルの運営を行って参りました。

今般、HWM社はアコーホテルズの業務提携先でありBanyan Tree Holdings Limitedの本邦現地法人であるBanyan Tree Japan有限会社との間で、新たに両ホテル運営に関する業務委託契約（以下「本件契約」といいます。）を締結することについて、本日の当社及びHWM社の取締役会において決議しましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴いエイ・エイ・ピー・シー・ジャパン株式会社との両ホテルの運営に関する業務委託契約については2022年2月28日をもって円満に合意解約することとなりました。

今後、「京都悠洛ホテルMギャラリー」と「京都悠洛ホテル二条城別邸Mギャラリー」の「Mギャラリー」ブランドとしての営業は2022年2月（予定）をもって終了し、新たにバンヤンツリー・グループブランドのホテルとして「京都悠洛ホテルMギャラリー」は「ダーワ・悠洛 京都(仮称)」、「京都悠洛ホテル二条城別邸Mギャラリー」は「ギャリア・二条城 京都(仮称)」として、2022年3月のリブランド開業を予定しております。

### 1. 本件契約締結の背景

京都市内において競合他社のラグジュアリーホテル開発が数多く進行し、アフターコロナにおける飛躍的な業績回復のための戦略を模索する中で、より上位のバンヤンツリー・グループブランドを誘致することが、本ホテルの競争力向上に資すると判断したこと、当社グループが開発事業に携わる「バンヤンツリー・東山 京都(仮称)（京都市東山区）」が、2024年（予定）に開業を控える中、本邦におけるバンヤンツリー・グループの世界的なマルチブランド展開の認知度向上と将来的なシナジー創出が期待できると判断したことから、本件契約締結につき合意に至りました。

## 2. 本件契約に関する相手先の概要

(1) 名称	Banyan Tree Japan有限会社
(2) 所在地	東京都港区芝大門2-2-1ACN芝大門ビルディング6階
(3) 代表者の役職・氏名	取締役 椎名祥子
(4) 事業内容	ホテル、スパ、レストランの経営並びにその技術指導に関するコンサルティング
(5) 資本金	金300万円
(6) 設立年月日	2004年4月12日
(7) 大株主及び持株比率	バンヤンツリー・ホールディングス・リミテッド 100%
(8) 上場会社と当該会社の関係	人的・資本的な関係、関連当事者への該当事項はありません。 当社グループが開発事業に携わる「京都東山 Banyan Tree (仮称) (京都市東山区)」において、ホテル運営を受託している当社連結子会社のHWM社が、当該会社とのホテル運営に関する業務委託契約を締結しております。

## 3. 日程

(1) 取締役会決議	2021年12月28日
(2) 契約締結日	2021年12月28日

## 4. 今後の見通し

本件に関する当社の当面の連結業績に与える影響は軽微であります。

### 【ご参考】

ホテル紹介ページ

京都悠洛ホテル Mギャラリー

[https://www.wealth-mngt.com/hwm/results/kyoto\\_m.html](https://www.wealth-mngt.com/hwm/results/kyoto_m.html)

京都悠洛ホテル二条城別邸 Mギャラリー

[https://www.wealth-mngt.com/hwm/results/kyotoni\\_jo\\_m.html](https://www.wealth-mngt.com/hwm/results/kyotoni_jo_m.html)

「Banyan Tree Group (バンヤンツリー・グループ)」について



バンヤンツリー・グループ (以後「バンヤンツリー・ホールディングス・リミテッド」または「グループ」) は、スチュワードシップとウェルビーイングを主軸としつつ、今とこれからの世界を旅する人々に格別な体験をご提供する、マルチブランド・ホスピタリティ・グループとして世界を牽引している独立したグループです。グループの多様なポートフォリオは、ホテル、リゾート、スパ、ギャラリー、ゴルフやレジデンスなど、次の10のグローバルブランドに渡り展開しています。数々の受賞歴を誇る「Banyan Tree」を始め「Angsana」「Cassia」「Dhawa」「Laguna」に続き、新たに加わるブランド「Hommi」「Garrya」「Folio」、そしてバンヤンツリーブランドから派生した「Banyan Tree Escape」と「Banyan Tree Veya」を予定しています。

グループは、1994年にサステナビリティ (持続可能性) を主たるコンセプトとして設立され、すべてのステークホルダーとホテルが所在する土地、商品とブランドに長期的な価値を創造することをミッションとしています。2008年に設立されたバンヤンツリー・マネジメント・アカデミー (BTMA)

は、23 か国に 8,000 名の人員を擁し、人材開発やマネジメント・エクセレンス（卓越した経営）を推進し、誠実かつ深く学ぶことでグループの目標達成をサポートしています。

グループは25年以上前の創業以来、2,850にも及ぶ産業賞と栄誉を獲得しています。最近では、TRAVEL+LEISURE 誌の「世界のホテルブランド・トップ25」に選出されました。また、バンヤンツリー・グローバル・ファウンデーション（BTGF）を通じて行われる環境保護と地域開発への取り組みは、国連の「持続可能な開発目標」に沿った活動であり、非常に評価されています。ローカライズ（地域化）された成長戦略を実行することでグループの世界的な事業展開は拡大を続けており、2021年12月時点で、15か国に54軒のホテルを運営しているほか、45軒のホテルとリゾートが設計段階または建設中となっています。グループは、世界的なホスピタリティ業界のリーダーとして、より大きな善のために、すべてのステークホルダーに利益をもたらすビジネスというミッション（使命）に強く取り組んで参ります。

2016年、グループはアコーと戦略的な長期的パートナーシップを締結し、世界中にバンヤンツリーブランドのホテルを開発・管理するとともに、アコーの持つグローバルな予約・販売ネットワークやロイヤリティ・プログラム「オール・アコー・リブ・リミットレス（ALL）」へのアクセスを提供してきました。さらに、2017年にはアクティブ・エイジング（活力ある高齢化）とウェルネスに向けたプロジェクトを推進するため、Vanke社（中国）との合弁会社も設立しました。

#### 「DHAWA(ダーワ)」について



**ダーワ**は、カジュアルかつ現代的なフルサービスのホテルで、独創的なデザインや極上の快適性、シームレスなテクノロジーのすべてをお約束いたします。お客様それぞれにカスタマイズされた宿泊を実現するため、豊富なオプションをご用意しております。スタイリッシュでユニークなデスティネーションでオリジナリティ溢れた体験を求める、デザインに精通したお客様にぴったりのホテルです。

#### 「GARRYA(ギャリア)」について



**ギャリア**は、都会にありながら心の休まる、モダンでミニマルな楽園です。シンプルなデザインの美しさを求める洗練されたお客様にオリジナルなウェルビーイングの手法をお届けします。レジャーと健康的な要素を組み合わせ、ウェルビーイングとサステナビリティ（持続可能性）にフォーカスした体験を提供いたします。

以上